

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

平成 31年4月2日

(宛先)狭山市長

サヤマセカンドステージ
団体名 Sayama Second Stage

所在地

代表者名 南部 健一郎

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	行政提案型協働事業
2 事業名	「協働」をより身近に！ 市民と市職員とのワークショップ研修
3 事業期間	平成31年6月1日から平成32年2月29日
4 事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	276,000円
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に 記入してください	協働によるまちづくり条例の施行にあたり、市民と市職員が対話を重ねてお互いを知るとともに、協働に関する理解を深めることを目的として、市民と市職員参加型のワークショップ研修会を4回開催する。
7 添付書類	<input type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

サヤマセカンドステージ
 団体名 Sayama Second Stage

1 事業名	「協働」をより身近に！ 市民と市職員とのワークショップ研修
2 事業の詳細	・市民と市職員参加型の合同ワークショップ研修会の開催(各回参加者40名程度) <プログラム例> ①アイスブレイク ②ワールドカフェ(テーマに沿って意見交換を行う) ③ふりかえり ・研修会出た意見やアイデアを集約し、発信する。
3 実施体制	「Sayama Second Stage」のコアメンバーを中心に運営する。
4 役割分担	【提案団体の役割】 研修会の企画(テーマ考案) 開催周知 ファシリテーター(進行役) 物品の準備など 報告書の作成
	【市の役割】 研修会の企画(テーマ考案) 開催周知 経費の支援
5 協働の効果	市民と市職員からの視点をもって研修会の企画から運営までを協働で行うことによって、より効果的な研修を実施できると考えられる。
6 事業のアピールポイント	合同のワークショップ研修会を開催し、お互いの困りごとや出来ることを共有することによって、より効果的に協働のまちづくりを進めていくことが出来る。 また、協働事業によって実施することで、市民及び市職員に対して協働のモデルケースとして示すことが出来る。